# なぜ今、NPOがソーシャルメディアを 使うべきなのか?

かつてインターネットが一般的に利用 できなかった時代、NPOは、電話・FAX・ 郵便を用いてコミュニケーションを行 っていました。そしてインターネット の普及によって、その速度と範囲は何十 倍、何百倍にも広がり、誰もが双方向に 情報をやり取りできるソーシャルメディ アが普及した事で、さらなる変革の時 を迎えたと言えるでしょう。

しかし、あまりに早いインターネットの 技術革新に、多くのNPOは適応できてい ないのが現状です。年配者だけの小規 模な団体では、パソコンも携帯もほとん ど使わずに活動している事がしばしば です。問題が起こっている現場に最も近 く迫り、その解決を目指すのが本来のNPO であるのなら、可能な限り高い優先順位を 付けて、意識的にインターネット、ひいては ソーシャルメディアを、「したたかに使う 選択肢」を持つべきではないでしょうか?

今やボランティア活動やNPO活動は、多 くの企業がCSR(企業の社会的責任) 活動の一環として協働が進み、多様化・ 高度化が進んでいます。そんな中にあ って、資金力・技術力のついた活動は、 よりメディアにも取り上げられ、イン ターネットを使う市民にも認知される 流れが生まれ、その流れに乗れない活 動は、その内容の良し悪しに関わらず、資 金源・参加者不足に陥る可能性が高ま ります。一方で、大手企業や政府に対 して批判的な主張を出す活動が認知さ れにくくなっている現実があります。

環境破壊や人権侵害など、山積する社会 課題の解決を目指すNPOにとって、ソー シャルメディアの理念(スピリッツ) と技術(スキル)を学び、より進んだ 活用方法を獲得する事は、その解決の ための速度と範囲を格段に広げる事に つながると思います。

この「ソーシャルメディアガイド」は、よ り多くのNPOが、それぞれのニーズに沿 ってソーシャルメディアを活用できるよ うになることを願って作成しました。

もし、このマニュアルと出会わなかっ たらTwitterをやる事もなかった、と言 っていただけたら、このマニュアルを 作った事は大いなる喜びとなります。

ソーシャルメディアを、まだ活用して いないNPOに普及する事が、複雑化・ 深刻化する社会問題の解決につながる 事、さらには民主主義国家としての成 熟につながる変化を促進する事を願っ てやみません。

まずはこのガイドの公式サイト 「A SEED-TV」をじっくりながめてくだ さい。

http://www.aseed-tv.org



## 「知る力」を高める

ソーシャルメディアは、さながら 「パブ (Public House)」です。多様な人が集 い、情報を交換するあり方の進化形と言える のではないかと思います。

「信頼できる情報」と判断する基準を磨き、 能動的・批判的に情報を取捨選択する力を磨 けるのもソーシャルメディアでしょう。



#### 「伝える力」を高める

「知らなかった事を伝える」 「多様な意見をぶつけ合う」

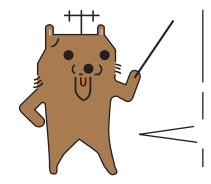
このスピードと規模を爆発的に高めたのがソ ーシャルメディアです。

個人であっても、中央政府や大企業に発信力 に対抗する可能性を秘めているのがソーシャ ルメディアと言えます。



## 「変える」力を高める

世論は数の論理が大きく作用します。何かを変 えるにあたって、どれだけの人が、その変化を 求めているのかを「視える化」し、しかるべき タイミングで社会的合意へとつなぐための手段 の一つとして、ソーシャルメディアは大きな可 能性を秘めています。今、人々がいかにソーシャ ルメディアを社会変革に活用していくかが問 われているのではないでしょうか。



#### ▶ ソーシャルメディアとは(ウィキペディアより) -

誰もが参加できるスケーラブルな情報発信技術を用いて、社会的インタラクションを通じて広がっ ていくように設計されたメディアである。

個人と個人、個人と組織、組織と組織の間の情報発信が、ウェブサービスを経由することによって それ自体が意味を持つコミュニティとなり、実社会に広く拡散され、影響力を持ち始めたメディア。 twitterやfacebookなどのプラットフォームによって、個人間の情報発信が可視化されやすくなったこ とにより、SNS(Social Network Service)のネットワーク的な概念を超えて、新たなメディアとして浸 透しつつある。